News Release

2025 年 11 月 5 日
（更新：11 月 12 日）
一般社団法人日本能率協会

第一線で活躍する建築家が選ぶ、優れた建材・設備製品

「みらいのたね賞」11 製品、「ゲスト選考賞」1 製品を決定

住宅･建築関連専門展示会｢Japan Home Show ＆ Building Show 2025｣で表彰･展示

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、住宅・建築関連専門展示会「Japan Home Show ＆ Building Show」の公式アワードである**「みらいのたね賞」**の受賞製品として、「みらいのたね賞」11 製品と「ゲスト選考賞」1 製品を決定しました。受賞製品は、2025 年 11 月 19 日（水）から 21 日（金）まで東京ビッグサイトで開催する「Japan Home Show ＆ Building Show 2025」（以下、本展）の各受賞企業ブースに展示されます。

「みらいのたね賞」は、建築分野の第一線で活躍する選考員が、本展の出展製品を対象に、毎年設定するテーマに基づき、優れた建材・設備製品を選出しています。

今年は「共感力」をテーマに、選考メンバーの山代 悟氏、山本 想太郎氏に加え、ゲスト選考員として大島 芳彦氏（ブルースタジオ 建築家・クリエイティブディレクター 武蔵野美術大学建築学科 客員教授）の 3 名による審査を行い、本展出展製品 300 製品の中から決定しました。

本展開催期間中、会場内では選考員によるトークセッション・表彰式（11 月 21 日）、選考員とともに受賞企業のブースをめぐる「みらいのたね賞ツアー」（11 月 19～21 日）を開催します。詳細は、公式サイト（https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo）をご覧ください。

■ **「みらいのたね賞」受賞製品（順不同・法人格省略）**※3～6 ページで製品詳細、選評を紹介

製品名	会社・団体名	ブース番号
PANECO® board M	PANECO	1-T20
2.5D サーフェスプリンター DIMENSE DA-640	ローランド ディー.ジー.	1-B24
ReFace®Sheet	アゼアス／光洋産業	1-M05
Oil Plus 2C(オイルプラス 2C)	Rubio Monocoat Japan	2-P28
LRTK	レフィクシア	2-E24
天井制振材 T-Silent Ceiling	大成建設/タイメック/みやちゅう	2-S17
未来の高齢者居室『自立のための 3 歩の住まい』	ファルマバレーセンター（静岡県）	2-D30
wallPen E2	セルカム	2-U18
LINAWOOD	緑川木材（HOKKAIDO WOOD）	1-M21
tebiki 現場教育	Tebiki	2-Q26
MAHBEX 涼暖	マーベックス	1-R24

■ **「ゲスト選考賞」受賞製品** ※6 ページで製品詳細、選評を紹介

製品名	会社・団体名	ブース番号
フランウッド（フラン樹脂加工木材）	フランウッド	2-C27

【展示会に関するお問い合わせ先】
一般社団法人日本能率協会 産業振興センター 石郷岡、小畑、西村、小野
TEL：03-3434-1988 E-mail：jhbs@jma.or.jp

【報道関係の方のお問い合わせ先】
一般社団法人日本能率協会 広報室 植草
TEL：03-3434-8620 E-mail：jmapr@jma.or.jp

「みらいのたね賞」概要

「みらいのたね賞」は、優れた建築を生みだすことに貢献しうる優れた製品、未来への布石となる製品に贈られる賞です。一般社団法人 HEAD 研究会が 2011 年より開催してきた「HEAD ベストセレクション賞」を継承し、一般社団法人日本能率協会が「Japan Home Show & Building Show」の公式アワードとして 2017 年にスタートしました。2025 年で 9 回目を迎えます。

本賞は、同展示会の出展者を対象に、建築の実務に携わる選考員（選考メンバー2 名、ゲスト選考員 1 名）が設定されたテーマに基づき、毎年約 10 製品を「みらいのたね賞」として選出します。さらに、ゲスト選考員の視点や思想をもとに「ゲスト選考賞」1 製品を選出します。

1．選考方法

今年は「共感力」をテーマに、「Japan Home Show ＆ Building Show 2025」出展製品 300 製品のなかから、1 次選考として選考員 2 名が 28 製品を選出、最終選考としてゲスト選考員を加えた 3 名で「みらいのたね賞」11 選品を決定しました。ゲスト選考員の視点から「ゲスト審査賞」1 製品を決定しました。

2．2025 年選考員

●ゲスト選考員

株式会社ブルースタジオ　建築家・クリエイティブディレクター
武蔵野美術大学建築学科 客員教授
大島 芳彦 氏

2000 年ブルースタジオ一級建築士事務所としてアセットマネジメント、都市再生を目的とするリノベーション事業をスタート。その業務範囲は建築企画・設計、ランドスケープデザイン、グラフィックデザイン、ブランディングと多岐にわたる。全国各地では自治体とともに地域再生ワークショップ「リノベーションスクール」の開催やまちづくり構想の立案などにも携わる。
2016 年団地再生プロジェクト「ホシノタニ団地」でグッドデザイン賞ファイナリスト金賞受賞。「北条まちづくりプロジェクト　morineki」では 2022 年都市景観大賞（国土交通大臣賞）受賞、2024 年日本建築学会賞(業績賞)受賞。2024 年　障害者シェアハウス『はちくりはうす』がグッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）受賞。

●選考メンバー

ビルディィングランド スケープ共同主宰
芝浦工業大学建築学部建築学科 教授
山代 悟 氏

1969 年 島根県生まれ、1995 年 東京大学大学院修士課程修了。1995-2002 年 槇総合計画事務所、2002 年 ビルディングランドスケープ設立 共同主宰。2002 年-2007 年 東京大学大学院建築学専攻 助手、2007 年-2009 年 東京大学大学院建築学専攻 助教、2010 年-2018 年 大連理工大学 建築与芸術学院 客座教授、2017 年-2018 年 芝浦工業大学建築学部建築学科 特任教授、2018 年- 芝浦工業大学建築学部建築学科 教授、「Slanting CAVE」で 2007 年東京建築賞 第 33 回建築作品コンクール 戸建住宅部門 最優秀賞、「みやむら動物病院」で 2016 年第 19 回木材活用コンクール 林野庁長官賞、2017 年東京建築賞一般一類 優秀賞、2019 年（平成 30 年）ウッドシティ TOKYO モデル建築賞 最優秀賞、「甲佐町住まいの復興拠点施設」でプロポーザル最優秀賞など。

山本想太郎設計アトリエ 代表
HEAD 研究会副理事長
山本 想太郎 氏

1966 年東京生まれ。1991 年早稲田大学大学院修了。1991～2003 年坂倉建築研究所勤務。2004 年山本想太郎設計アトリエ設立。現在、東洋大学・工学院大学・芝浦工業大学 非常勤講師。日本建築家協会デザイン部会長。HEAD 研究会理事。主な建築作品として、南洋堂ルーフラウンジ、日本橋大伝馬町プラザビル、来迎寺本堂・庫裏、妻有田中文男文庫、越後妻有清津倉庫美術館など。主な著書・訳書として、『現代住居コンセプション』（共著、INAX 出版）、『建築家を知る／建築家になる』（王国社）、『イラスト解剖図鑑 世界の遺跡と名建築』（監修・訳）など。主な受賞歴として、オーストラリア建築家協会賞、AACA 賞、東京建築賞など。

3．「みらいのたね賞」受賞製品（順不同・法人格省略）

「PANECO® board M」
PANECO（ブース番号：1-T20）

「未来は、ゴミでつくる。」
循環する社会を支える、社会実装型の次世代建材。
新しく生まれ変わった「新・PANECO®」は量産化体制を確立し、廃棄衣類に木質チップを融合して高強度と安定した品質を実現。
大判サイズと優れたコストパフォーマンスで、内装や家具の仕上げ材・下地材としても活用できる、サステナブルな未来を素材からつくり変える建材です。

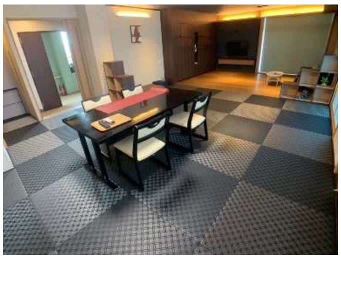
【選評】
年間約 9200 万トン、大量廃棄の象徴とも言われる廃棄衣類。そのうち 80%以上は焼却・埋立て処分され極めてリサイクル率は低く、2030 年にその廃棄量は 1.5 億トンにも達すると予測される。本製品はアパレル関連の什器類をデザイン制作する会社の発案で MDF の生産、量産技術をもつメーカーが協働し、繊維専門の老舗商社がこれを建材、部材として流通させるという絶妙のコラボレーション。ディスプレイ什器の部材としてのみならず、内装仕上げ材、さらには下地材としての建築業界へのアピールは大きな倫理的共感へとつながるだろう。原料と製造過程の特性上、製品の表情はランダムでナチュラルな風合いなものとなり、これは建築的にはむしろ豊かで唯一無二の自然な表情を及ぼしてくれる。（大島芳彦）

「2.5D サーフェスプリンター DIMENSE DA-640」
ローランド ディー.ジー. （ブース番号：1-B24）

DIMENSE DA-640 は、高さ 2mm までの立体的なテクスチャと高品質なフルカラー印刷が行えるデジタルプリントソリューションです。印象的な立体エンボス表現と優れた印刷品質で、 唯一無二のグラフィックを作り出します。さまざまな色や質感、特性を備えたメディアをラインアップし、 デジタルプリントの可能性を広げます。
安全性が高く、環境にも配慮した PVC フリーメディアと水性レジンインクを採用しています。

【選評】
自由なデザインで印刷してくれるサービスは既にかなり一般化してきたが、このプリンタとアプリによるソリューションは、通常のカラーインクに加えて「ストラクチャーインク」を用いることでグラフィックのみならず立体的なテクスチャまでも印刷することができるというものである。テクスチャの凹凸はもちろんそんなに大きなものではないが、そのわずかな違いだけで、仕上がりの印象は、視覚的な刺激から触覚性を伴った表現へとガラッと変わる。この表現力を使ってどのように新しいインテリアを生みだそうか、というクリエイティビティを強く触発してくる製品である。（山本想太郎）

「ReFace®Sheet」
アゼアス／光洋産業（ブース番号：1-M05）



ReFace®Sheet は畳の表面材や壁紙用途として、和モダンを基調とし 26 種類の色柄で表現。PVC の糸を織物として仕上げることで立体感を生み高級感ある空間を演出します。また機能性として以下 5 つの特徴があります。①耐摩耗性に優れ、畳や壁紙に生じる傷の発生の抑制、②防滑性が高く、滑りにくい、③優れた耐薬品性は消毒液や洗剤も使用可、④高い耐候性は退色や劣化を軽減、⑤防水タイプの生地もあり水廻りでも使用可
ReFace®Sheet を使用した ReFace®Tile と ReFace®Mag もあります。

【選評】
ますます本格化する超高齢社会。住宅をはじめとする高齢者の住環境において転倒事故を低減させる床材や清掃しやすい床材のニーズは高まることが予測される。PVC 織物系の本製品は他社類似商品と比べ厚みなど耐衝撃性が高く、掃除しやすく、衛生面の良好かつ平易な管理も容易に想像できる。15 歳以下の子供の数を犬猫の飼育頭数が勝る今、高齢世帯、単身世帯の更なる増加は住宅内の「コンパニオンアニマル」の増加を意味しており、これらペットにとって暮らしやすい室内の床材としても当製品は優れていると考えられる。加え、繊細な質感と和テイストのカラーバリエーションはデザインエレメントとして特筆すべきものがある。（大島芳彦）

「Oil Plus 2C(オイルプラス 2C)」

Rubio Monocoat Japan（ブース番号：2-P28）

ベルギー発の自然塗料「Rubio Monocoat Oil Plus 2C(ルビオ・モノコート オイルプラス２C)」は天然成分(アマ二油)由来の木材用オイル塗料です。VOC 0%で溶剤を一切含みません。独自の分子結合技術により 1 回塗りで着色と保護、乾燥と硬化までを実現。さらに高い撥水性も備えている点が世界各国の市場で高く評価されています。ほぼ全ての木材に塗布でき、木の自然な風合いや手触り、木目を最大限に活かせる、次世代の木材保護オイルです。

【選評】

この製品は環境にやさしく、使いやすい自然系オイル塗料です。ベルギーで 100 年以上の歴史を持ち、品質と信頼性の高さは世界的にも広く認められています。塗装やメンテナンスが容易で、専門の職人でなくても扱いやすく、DIY での使用にも適しています。これまでプロに依頼していた作業を自ら楽しみながら行える点も魅力です。職人不足や工事費の高騰といった社会的課題に対応しながら、自然素材の美しさを長く保てる、持続可能な暮らしを支える「古くて新しい」塗料として高く評価しました。（山代悟）

「LRTK」

レフィクシア（ブース番号：2-E24）

高精度 GPS 端末「LRTK」はスマホやタブレットに装着するだけで cm 精度測位から 3D 点群スキャン、位置ずれしない AR や座標誘導など多彩な機能が 1 台で完結します。

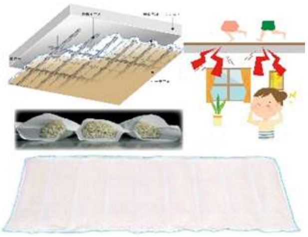
撮影時には位置・方位を高精度記録し、記録したデータはクラウド管理・共有ができます。CLAS 対応でネット圏外でも測位可能です。土木・建設からインフラ管理まで幅広い分野で活用でき、現場の作業効率化に貢献する次世代測位デバイスです。

【選評】

この製品は、スマートフォンと連携して手軽に点群データを取得できるスキャニングデバイスです。高価な専用機器に比べて安価で携帯性が高く、1 人 1 台という体制を実現できる点が魅力です。精度はセンチメートル単位ながら、敷地の初期調査や既存建物の概略把握、樹木や公園などの実測、改修時の既存家具との取り合い確認などに十分活用できます。装置の販売とサブスク型利用を組み合わせた仕組みも現代的で、建設現場の生産性向上とデジタル化を促す、今後の可能性を感じさせる優れた製品です。（山代悟）

「天井制振材 T-Silent Ceiling」

大成建設/タイメック/みやちゅう（ブース番号：2-S17）



マンションやアパートなどの集合住宅で代表的なトラブルは騒音問題です。特に上の階からの床衝撃音は顕著で、解決方法が無いと思われがちです。「天井制振材」なら、騒音被害を受ける下階の室内からリフォーム施工することで騒音を低減します。

本製品は重量床衝撃音だけでなく軽量床衝撃音にも効果を発揮する点で従来技術より優れ、天然鉱物ゼオライトで構成されるため「不燃」「調湿」「脱臭」などの副次的効果が期待できます。

【選評】

新築の建設価格が高騰する中、ますます需要が高まる中古マンションのリノベーション。新築マンションとの性能比較において顕著なものが床スラブの厚みの差によって生ずる上下階の遮音性能の差である。特に重量衝撃音はコンクリートの増し打ちなどスラブの質量を上げる方法によってのみ解決されるとされてきたが、これは著しく躯体の重量を向上させてしまうため建物の構造上あまり望ましいことではない。それに対して本製品は極めて平易な施工方法でこれを天井裏に敷き詰めるだけで LH 値を 5 も下げる効果を示す。また他社類似商品と比べて天井に敷き詰める方法をとるため、LH 値や音響透過損失の低下も期待できる。またゼオライトによる脱臭効果も期待は大きい。（大島芳彦）

「未来の高齢者居室『自立のための 3歩の住まい』」

ファルマバレーセンター（静岡県）（ブース番号：2-D30）

高齢化が進むとベッドが暮らしの中心の場となります。３歩ほどでトイレや浴室に行くことができ、必要な品は手元に届き、家族・社会とつながることができます。３歩の歩みから高齢者の未来は大きくかわります。当プランの開発にあたっては、静岡がんセンターでの 20 年間の治療・緩和ケアの看取りの経験が生きています。健康寿命が尽きた高齢者や障がい者の自立支援のためのノウハウを集めています。

【選評】

この製品は、今後増加する高齢者世帯に向け、設計マニュアル・商品構成・概算見積を一体的に提案する包括的なパッケージです。建材や設備といった個別要素の優劣を超えて、住まい全体をどのように構築するかという視点を提示している点が高く評価されました。介護や看護の現場、家族の視点など多角的な要素を整理し、初めて高齢者住宅に関わる設計者や施主にもわかりやすく導入しやすい仕組みを示しています。複数の製品を統合した「住まいの標準化モデル」として、社会的意義の大きい提案です。（山代悟）

「wallPen E2」

セルカム（ブース番号：2-U18）

Wallpen E2 は、ドイツで開発された垂直式 UV プリンターです。専用レール上で自走し、最大 4m の高さまで壁面に直接高精細な印刷が可能です。ガラスや石膏ボードなど多様な素材に対応し、組立式でどこでも設置可能。商業施設やオフィスなどの壁面デザインに革新をもたらします。

【選評】

壁面に直接インクジェット印刷をすることができる装置。特殊なインクでさまざまなマテリアルに描画でき、ある程度の凹凸にも対応する。その機能の割にはコンパクトな寸法で、電源も搭載しているため機動性も高そうである。壁紙の上にも印刷できるが、この製品の真価は、設置した状態でないと定位しないもの、すなわちタイルやレンガ、あるいは塗装、左官などの仕上げに対して用いることで発揮されるだろう。印刷対象の多様さを想定すると、白色インクが用意されていることも実に的確であると思われる。もちろん現場の状態による制約はいろいろあると思われるが、「壁に直接印刷できる」技術が存在するというだけでも、インテリアやサインのデザインの可能性は確実に広がるだろう。（山本想太郎）

「LINAWOOD」

緑川木材（HOKKAIDO WOOD）（ブース番号：1-M21）

近年注目の CLT と同様の構造を用いながら、当社独自の厳しい品質管理を経てつくられています。板材の乾燥から表面に使用する板材の見極め、節のパテ補修やヤニの除去、仕上げの研磨まで、職人による丁寧な作業・検品を徹底。節やヤニの多い針葉樹から加工が難しく３積層木材に使用されない広葉樹まで、高品質な仕上がりを実現しています。

【選評】

この製品は、北海道産の木材を使用した三層パネルで、地域資源を活かした新しい木材利用のかたちを示しています。これまで扱いづらいとされてきたトドマツや、ナラ・タモといった広葉樹を建築や家具に活用する試みは、大きな意義があります。厚み 21～36mm という設定も、内装材や家具部材など幅広い用途に適しています。現時点では CLT などの公的認証には未対応のようですが、今後の需要拡大とともに規格化が進めば、地域材の利用拡大を支える重要な製品となるでしょう。地域木材の未来を感じさせる優れた提案です。（山代悟）

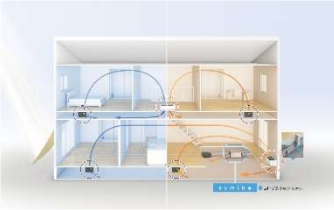
「tebiki 現場教育」
Tebiki（ブース番号：2-Q26）

tebiki

tebiki 現場教育は「現場の教育を、動画でもっとかんたんに」をコンセプトに、現場の教育課題を解決するクラウド型の現場教育システムです。動画マニュアルの作成からスタッフの習熟度管理・スキル管理まで行うことができます。これにより、OJT の効率化、技術継承、品質向上を可能にします。

【選評】
建設業を含めたさまざまな業務の現場における、動画をベースとしたマニュアル作成、そしてそれを用いた研修・教育を支援するクラウドサービス。スマホで現場の動画を作成し、それをマニュアルという体裁にまとめて管理、さらにはそれを用いた研修の進捗管理まで総合的に行うシステムを、ノーコード・プロセスによってユーザー自身で作成することができる。基本的には企業の新人研修や社内マニュアル作成などが想定されているが、実は専門的な技術やノウハウの蓄積と管理、そして継承という、社会的、文化的に非常に意義のあるインフラとしてのポテンシャルをもっているように思われる。教育機関での利用や、もっと社会に開かれた情報データベース作成などにもこの仕組みは応用できるのではないか。（山本想太郎）

「MAHBEX 涼暖」
マーベックス（ブース番号：1-R24）



「MAHBEX 涼暖」は、換気システムとルームエアコンをセットにした空調システムです。
空調された空気と新鮮外気を床下で混合し、床面に設置された送風ファンから各居室を暖房（冷房）します。送風ファンは風量を各居室ごとに調整が可能なため、快適に家全体を空調します。さらに、導入費用の抑制・省エネ性能・優れたメンテナンス性を実現しています。

【選評】
エアコン、全熱交換換気、床埋め込み給気ファンの組み合わせによって、床下を用いた冷暖房＋換気を実現するシステム。エアコンはメーカーと提携して既製品の壁掛けエアコンを床下用に設置。そして静音性の高い大風量床ファン「LaLa fan S」と、床下設置用に上部からメンテナンスできる全熱交換器「sumika」によって床下チャンバー空調システムを構築している。居住域に近い空調と、床輻射も用いる快適性の高さにはかなり期待できる。なによりもカタログを見れば誰でも理解できるくらいシンプルな原理と機器構成であることは評価に値する。実際には建築を含めしっかりと計画をした上で採用する必要がありそうだが、これだけシンプルな原理であれば設計者も検討しやすいだろう。（山本想太郎）

4.「ゲスト選考賞」受賞製品

「フランウッド（フラン樹脂加工木材）」
フランウッド（ブース番号：2-C27）

フランウッドは 2018 年設立のスタートアップ。スギとヒノキの細胞壁に 100%植物由来のフラン水を含侵し化学修飾した特許技術の改質木材を京都府立大学と共同開発。腐る、シロアリに弱い、寸法が狂うなど国産材の弱点を解決し、世界で枯渇が進むチーク、ローズウッドなど熱帯産最高級ハードウッドに近似した物性、美しさを持つ木材を再現。ウッドデッキで 30 年以上メンテナンス不要の耐用年数を誇り国産材の内外装材利用の可能性を広げる。

【選評】
自然由来の液体を含浸させることによって木材、ことに針葉樹をハードウッド化させ耐久性を向上させる技術。杉、檜を屋外仕上げに採用する上でその可能性を飛躍的に向上させるものと考えられる。外装材としての木材利用を促進する当技術は従来の都市部の「新建材」による無機質な景観に一石を投じるものとなるであろう。同種の製品、技術と比べて施工初期の色調はナチュラルで落ち着いた印象であり、その経年の安定した色味の変化もまた設計者、デザイナーの要望にしっかりと寄り添っている。さらにフランウッド社は本社が所在する岡山県の津山市において地産材の流通促進、林業の再生も目途に入れた行政との協働体制を築いていることも着目すべきことである。（大島芳彦）

5.「みらいのたね賞 2025 開催記念　選考員スペシャルトーク」開催概要

開催日時：2025 年 11 月 20 日（木）15:05～15:55

会場：JHBS ステージ B

登壇者：大島 芳彦氏、山代 悟氏、山本 想太郎氏

参加方法：事前申し込み制（無料）。下記からお申し込みください。

https://www.jma-exhibition.com/autumn/jp_jhbs/registration_seminar.php

6.「みらいのたね賞ツアー」開催概要

選考員とともに、今年の受賞企業のブースをめぐるツアーを実施します。

業界のトレンドや隠れた名品に出会える貴重な機会です。

開催日時：2025 年 11 月 19 日（水）16：00～17：00

同行者：山本 想太郎氏

11 月 20 日（木）16：00～17：00

同行者：大島 芳彦氏、山代 悟氏、山本 想太郎氏

11 月 21 日（金）13：30～14：30

同行者：山本 想太郎氏

※同行者はいずれも予定

参加方法：事前申し込み制（無料）。下記からお申込みください。

https://www.jma-exhibition.com/autumn/jp_jhbs/registration_seminar.php

「Japan Home Show ＆ Building Show 2025 開催概要

総　　称：Japan Home Show ＆ Building Show 2025

主　　催：一般社団法人日本能率協会

共　　催：一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会／一般社団法人リビングアメニティ協会／一般社団法人住宅生産団体連合会／公益社団法人日本建築家協会

後　　援：外務省／経済産業省／国土交通省／林野庁／独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）／独立行政法人住宅金融支援機構（順不同）

協　　賛：関連 50 団体(予定)

会　　場：東京ビッグサイト（有明・東京国際展示場）　西展示棟

会　　期：2025 年 11 月 19 日（水）～21 日（金）　10:00～17:00

出展規模：約 600 社/1200 ブース（建築インテリア WEEK 合計）　※共同出展者含む

公式サイト：https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo

来場方法：https://www.jma-exhibition.com/autumn/jp_jhbs/registration.php から事前登録をお願いします

来場予定者数：約 27,000 人（同時開催展含む）

同時開催：JAPANTEX 2025／第 10 回アジア・ファニシング・フェア 2025／ビルメンヒューマンフェア＆クリーン EXPO 2025

プレス登録(取材のお申し込み)のご案内

取材にあたってはプレス登録が必要です。円滑な入場手続きのため、事前のプレス登録へのご協力をお願いします。

※プレス登録いただいた方には、「プレスバッジ」「取材に際してのお願い」をお渡しします。

※会場案内図は、印刷物として会場で配布しておりません。公式サイトからダウンロードをお願いします。

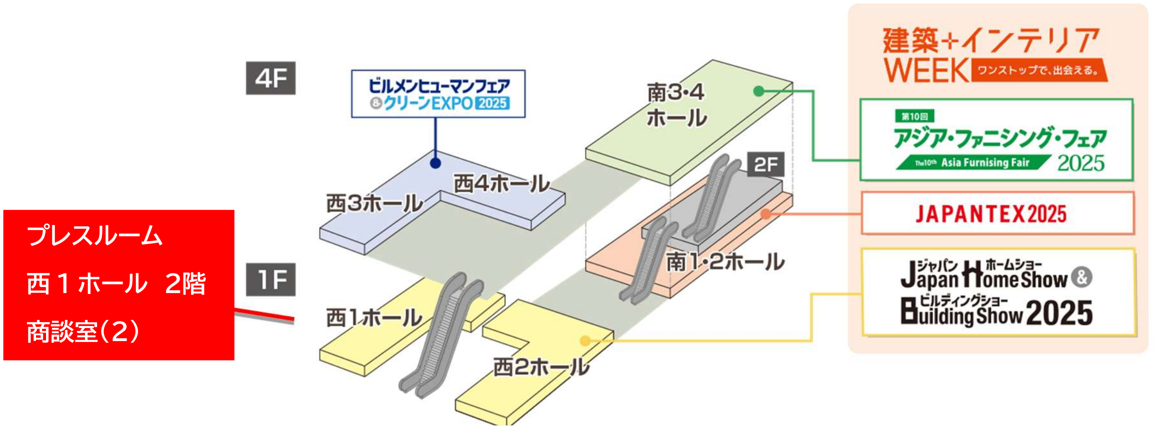
事前登録：「取材お申込みフォーム」からご登録ください。

https://www.jma.or.jp/press/

『事前登録いただいた際の返信メール』のプリントアウトとお名刺 2 枚をご用意の上、「プレス受付」にお越しください。

■プレス受付（プレスルーム）の開設日時、場所

開設日時	2025 年 11 月 19 日(水)～11 月 21 日(金) 9:30～17:00
場所	**西展示棟1ホール2F:西1商談室(2)プレスルーム**



当日、取材に関するお問い合わせがございましたら、プレスルームにお立ち寄りください。

※プレス登録は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web 媒体などの取材／編集／報道に関わる方が対象です。報道機関の広告・営業部門、広告代理店、マーケティングリサーチ会社の方はご遠慮いただいております(上記の方は、一般登録でご入場いただけます)。
ご理解の程、よろしくお願い申しあげます。

◆講演・セミナーをご取材される際のお願い

取材される場合は、対象者の了解のもと行ってください。
講演に使用された投影パワーポイント、配布資料およびテキストなどの無断転載は固くお断りいたします。
講演内容を掲載する場合は、必ず講演者に許可を得てください。ご協力のほど、よろしくお願い申しあげます。